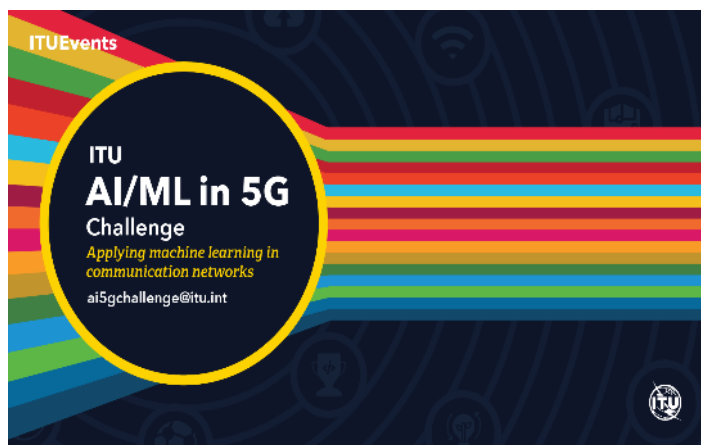


4.1 ITU AI/ML in 5G Challenge

- ITUは、5Gネットワークを含む将来ネットワークにおけるAI/ML(人工知能/機械学習)の最適な適用方法を模索、「ITUのMLアーキテクチャを5Gネットワークにどのように適用するか？」をテーマに国際的なコンテストを実施。
- 各国レベルのグローバルラウンドと世界大会のファイナルラウンドで構成され、学生や専門家がAI/MLの活用アイデアとオープンソース実装の解決案を競い合い、2020年12月17日に表彰式が行われた。



ITU-TにおけるAI/ML関連勧告

- Y.3172 : NWにおけるMLのアーキテクチャ
- Y.3170 : ユースケース
- Y.3173 : NWインテリジェンスレベル評価
- Y.3174 : ML用データ処理

グローバルラウンド :

- 日本を含め9ヶ国、15種の検討課題について提案発表を審査
- 日本では電子情報通信学会RISING研究会主催で開催
- 2種の検討課題に対して16件の応募があり、審査の結果各課題3位までの6件がファイナルラウンドに選抜
(日本、ブラジル、スペイン、中国、印度、アイルランド、アメリカ、トルコ、ロシア)

ファイナルラウンド :

- 世界9か国から選抜された33チームが参加し、12月15~17日にオンライン発表審査会が行われ優秀賞を選考
- 日本のチームは第3位と特別賞3件を受賞

TTCの役割

- ITUイベントの運営管理委員会に参加・貢献
- 日本ラウンドの後援を行い、FG-ML5Gの成果物をベースに作成されたAI/ML関連勧告の有効性検証と新たな標準化検討の方向性を推進支援する機会を提供